

投資事業評価調書（継続）

部課室名	漁 港 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 小 野 順 三 (菅 野 晴 行)	内線	4172 (4179)
------	-------	---------------------	--------------------------	----	----------------

事業種目	漁港漁村事業	事業名	事業区間	総事業費	約 25 億円
		漁港修築事業	富島漁港	内用地補償費	- 億円
所在地		事業採択年度	着工年度	完成予定年度	進捗率 (内用補進捗率)
津名郡北淡町富島		H 6 年度	-	H 19 年度	0 % (- %)
事業の目的		事業内容			
当漁港は、海面漁業及びノリ養殖が盛んな地域であるが、漁港の基本施設の不足に起因して様々な問題を抱えている。本事業により用地、係留施設、道路及び泊地の整備を行い、漁業活動の円滑化と安全性の向上を図る。		北防波堤 260m 北内防波堤 40m 北護岸 176m 護岸 35m 物揚場(1)(2)(3) 285m 船揚場 47m ノリ養殖関連用地等 18,300㎡ 道路 895m 負担割合 (国 5/10 県 4.5/10 地元 0.5/10)			
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成 6 年度に事業採択されたが、本工事には着手していない。 平成 11 年度に再評価を行い、北淡町公共下水道事業などの関連する他事業の地元調整に進展が見られるまで事業を一時休止する答申を得る。 平成 12 年度に与党三党の公共事業抜本見直し対象事業となり、下水道事業に対する地元合意が得られるまで引き続き「休止」とする答申を得る。 下水道事業について、町は、関係漁業組合等と調整を進め、このほど地元合意が得られた。 				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	当漁港は、淡路島の北西部に位置し、瀬戸内海屈指の好漁場である鹿ノ瀬に近く、小型底曳網等の漁船漁業とともに、ノリ養殖も盛んな地域であり、沿岸漁業の基地として機能している。しかしながら、当漁港内には明石との定期旅客船の発着場や造船所が存在することから、狭隘な泊地の中で、これらの船舶と利用漁船が輻輳して漁業活動に支障をきたしている。このため、当事業により、港内の航行の安全性及び係留機能の向上を図るとともに、ノリ養殖等に必要な用地を確保し、町の基幹産業である漁業の基地として漁港機能の充実を図る。				
(2)有効性・効率性 ・有効性 ・効率性	当事業により、外郭施設、係留施設、輸送施設及び用地等を整備することにより、陸揚げ作業やノリ養殖作業の効率化、安全性の向上など漁業活動の円滑化が図れる。B/C は 1.47 である。 当地域では漁港整備と併せて、下水道処理施設用地や公共用地の確保を目的とした埋立計画がなされている。また、漁港の背後地域においては、震災復興土地区画整理事業が展開されており、これらの整備計画と一体的、効率的に整備を進めることにより、漁港機能の向上と併せて生活環境の改善など地域の総合的な整備が図れる。				
(3)環境適合性	北防波堤を海水交換型の構造とし港内の水質対策を行う。また、隣接して下水道処理施設が建設され、当地域の水質改善が図られる。				
(4)優先性	漁港整備事業は、公共下水道事業と一体の埋立計画であり、公共下水道事業に対する地元合意が得られるまで一時休止としていたところである。このほど、地元合意が得られたことから早期に事業を再開する必要がある。				
再評価の結果	再開妥当	左の理由 本事業は、阪神・淡路大震災により甚大な被害を受けた地域であり、復興事業に位置づけられ、公共下水道事業等の周辺事業と一体的に整備し、漁業活動の円滑化、安全性の向上を図る上で必要な事業であり、下水道事業に対する、地元合意が得られたことから事業再開が妥当と認められた。			